夕刊
いわき民報

発行所
平市田町四八番地
いわき民報社
電381 1222

ポン患者専用の病院を荒川に建設

新田目病院 八月には五十名を収容

五十名に下るまい（平保健所調べ）といわれる潜在ヒロポン中毒者を持つ石城郡は日本第二位東北一を誇る？ヒロポン地域に更生施設もなく関係者を憂慮させていたが、平市才槌小路新田目病院（院長新田目五郎氏（四〇））が私財千五百万円を投げ打つて平市上荒川字砂屋戸地内にヒロポン中毒患者専用の病院を建築することになり、泥沼に陥り込んだ中毒患者に福音をもたらした

社会混乱と生活苦から最近とみに精神障害者と石城地区のヒロポン中毒患者激増に鑑み管内唯一の精神障害者収容施設の新田目病院には収容することが出来ず今回の建築が計画されたもので、中毒患者収容施設として千葉県船橋市の総武病院が全国唯一の存在だつた、新設される専用病院は平市上荒川字砂屋戸地内の敷地千五百坪に三月一日から二カ年計画で建坪五百坪、収容人員二百名の分院を建て本年八月には五十名収容の専用病院を開設するもので、同病院建築は衛生、教育、保安関係者を喜ばせている

新田目院長談＝分院建設の申請書には中毒患者専用病院の字句をうたいませんが、郡内の中毒患者の多いことと、施設のないことからしていずれ本年八月に開設する五十名収容の病棟を中毒患者専用の病院に決定されると思いますし、また私もしたいと思っています

（写真は新田目院長）

昨日の地震

一日おきに地震におそわれている石城地方＝十九日午後一時五十分ごろまた地震があつた、小名浜測候所の観測では震源地は鹿島灘深さ約四〇キロと推定され震度は軽震

木材の百貨店
一般建築材 建具材 ベニヤ板類
銘木 秋田杉 津島松 木そ檜 ラワン材 米杉 車輛材 枕木 電柱
㊀丸一材木店
平市五丁目電二九〇
工場 平市禰宜町電五五六

石島一徳社 殆んど完成す

愈よ三月一日に開館

県内初の私立公民館として平市白銀町に建設を急いでいた財団法人石島一徳社（館長石島徳長氏）は白モルタルの装いも美しく殆んど完成し、三月一日午後一時から開館式を行うことになつた、講習科目は英語、珠算、洋裁、活花、柔道、剣道で講師の陣容も決り、二月一日から二十日まで受講申込みを受け付ける

石島氏の義挙によつて建てられた公民館は建坪百三坪の本館と四十坪の別館を有し、本館は階下に四教室、二階を五十五坪の講堂兼道場とし、別館は二十畳敷教室二を活花、洋裁に当てる、なお当初無料授業が計画されていたが県教育委員会では他の特殊学校との均衡を破ることをおそれ、また授業熱に及ぼす影響もあるところから月百円―二百円の授業料徴収方の要請があり最低料を取ることになつたが、同氏は困窮者に対しては無料授業をする意向、各科の内容次の通り

▼柔道（師範、阿部文平六段）毎週火金二回、夜六時―八時、一般高校生二百円、中学生以下百円

▼剣道（師範鈴木忠正八段）毎週火金二回夜六時―八時、百円

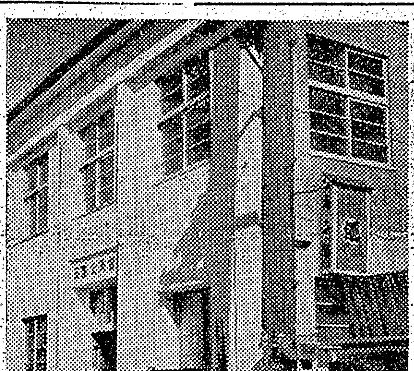
▼活花（池の坊、吉田都子氏）毎週水木一回、午後二時―六時一月五十円

▼英語（磐高宇田恒雄氏）毎週二回、月百円

▼珠算（平商松崎年宏氏）毎週二回、月百円

▼洋裁（鯨岡洋裁畑久子女史）本科、研究科に分れ、午前九時―午後三時、午後六時―午後九時の昼夜二部制、月水金の週三回制、月いずれも二百円

石島氏談＝無料でやりたかつたが県教委の要請があつたので不本意ながら授業料を定めました、しかし向学心に燃えている人でお困りの方には無料にしたいと思います



（写真は新装なつた石島公民館）

ダルマさん造りに大童

舊正月用に

★…ダルマさんにらめつこしましヨ、石の上にも三年、七転八起とムカシから心棒強く世の中をわたれといわれてきたが、世の中がこうも景気が悪いと人間のさびしい顔ばかりが増えてくる、こんな時ダルマさんを買つてきて真一文字に結んだ意志力の強いダルマを、見習うのも少しばかりは約にたつ

★…旧正には特に農家では今年一年の福を祈願するため神棚にダルマをまつる、ダルマ屋さんでは旧ろうから各小売店の注文にてんてこ舞の製造を始めたが、平市内では二、三カ所でしか作つていないので需要増、それでも税務署をこわがつてか〃去年とマアマア同じ位ですヨ〃と張切つている、大は三百円から小は三十円といろいろある（写真はてんてこ舞のダルマ造り）

合併への研究會

菊多方部 組織に決定

菊多方部三町二カ村の合併案を審議する第四回会合は二十日午前十時から植田町役場で開催、各町村とも意見を発表した結果合併促進研究会を組織することに決定し、会則及び役員を選任し軌道に乗せることを決議し散会した

植田町では十九日午後一時から議員協議会を開いて町村合併に伴う研究会加盟問題について審議した結果加盟に決定した、なお従来合併案に出席していた非公式議員（常任委員長、正副議長、庶務主任及び町長、助役）を正式に出席者として承認した

整理に進展か

廿一日常磐労使委會

常磐炭鉱では二十一日午前十時から労使小委員会を開く、これはさきに会社側から出された余剰人員千七百五十名中、一応吸収できる千七十名を除く六百八十名に対する労使双方の計画案を検討するほか、同炭鉱生産面に対する余剰人員数につき経理内容から根本的調査を行うもので、人員整理にまで進展するか、組合側の主張する配置転換に止るかその成行きが注目されている

固定資産の評價に従事

三月に縦覧

平市税務課では三十年度固定資産の評価額を決定するため昨年十二月から臨時事務員十二人を使つて目下計算中、全部で十万件にのぼる山林、家屋、宅地、田畑、原野池などを計算するとあつてこの業務は二月中旬までかゝる、評価額の決定は二月二六日まで行い三月一日から一般に縦覧、審査（苦情）の請求は四月十日まで、なお第一期分の納税は四月となつている

炭鑛へ無料診療班出張

平保健所では中小炭鉱困窮者の無料診療救援を二十四日―二十七日二月一日―四日の二次にわたり、内郷市入丸炭鉱従業員家族六百八十名、好間村上好間炭鉱五百四十名計千百三十名に実施する、巡回診療班は大型診療車に医師、保健婦、看護婦、レントゲン技師五名の編成

平署の納會

平署では去る十日以来寒稽古を行つていたが二十一日午後一時より演武場で納会を行う、当日は逮捕術、柔道、剣道の紅白試合、個人戦があり柔道は十位迄、剣道は五位迄賞品が出る

生活改善の励行を奨む

植田公民館

植田町公民館では十九日連絡協議会を開いて生活改善について協議した結果左の項目を一般家庭に励行することにした

一、時間の励行 一、結婚の簡素化（精神的に啓蒙を図ること）一、新婦の衣裳着付（割引奉仕）但し公民館内に設ける結婚式に限る 一、食生活の改善毎月一回植田保健所の栄養士を招聘し日常の献立を作り各家庭に配布する 一、結婚旅行者に対し公民館連絡協議会発行の旅券を交付するこの旅券は交通宿泊上に便利が図られる

失保金停止者の審査會

失業保険金支給一時停止者の審査は十九日午後一時から丹内県審査官が来平、失業保険認定中無届けで作業に従事した失業保険法違反容疑で支給を停止された内郷市もと入丸炭鉱従業員桑名清一さん（三七）ら四名の審査の結果、無届けではないことが判り失業保険金の支給を再開することになつた

石炭輸送協議

來る廿六日

常磐炭田の石炭輸送について協議する会議は来る廿六日午前十時から石炭協会内で開き、二月分の貨車輸送その他を相談する

天気予報（廿日）

【今晩】南よりの風やゝ強く晴

【明日】南または南西の風幾分強く晴、山添地方は時々曇

海上、今晩風波がやゝ高い、明日風波があるから漁船は注意を要する

岡カ見物

大衆の娯楽であり教育でもある映画が近頃上映時間がだんだん長くなり四時間余もやるのが珍しくない▼換気の悪い館内でこうも長く映画を見ていることは大衆の衛生上よくないではないかという議論が上つていたのでこのほど閣議でこの上映時間を二時間半に制限することにした▼衛生上の見地からこの制限は極めてよい方策だと考えられる、然しこれまで四時間も見て映画を満喫したミーハー族には物足りない感じもあつて反対も強く主張されるかも知れない▼まだ県庁にはその通達が来ないのでどう決るかはつきり判らないが何れにしても二本建の三時間位におさまるのではないだろうか、この長時間の上映は映画会社が映画館の競争心理を捉えて押付ける、映画館は二本より三本の方が客足がつくので自然長時間上映となるようだ▼この結果が大衆衛生に支障ありということになつて来たのだがこの辺で上映時間にブレーキを掛けることは悪くないと考える。

貴女が知らぬ貴女の美しさ
お顔のことで自信をなくすのは早計です藤越の美容室花藤サロンで二三度パックされた方は例外なく綺麗になつたとお友達からビックリされています。科学的美容設計による美容法を採用している花藤サロンに是非どうぞ。
㊙マックスパック剤 五五〇円
㊙資生堂〃 四〇〇円
越
藤越
小名浜
平市

21日から23日まで
足の夫婦大特賣
旧歳末贈答用として一番良い品を豊富に一番お安く奉仕致します
▽男 桐 二〇〇円より各種
▽男山桐 一四〇円を一一〇円に
▽女 桐 一三〇円より各種
▽女山桐 一三〇円を一一〇円に
▽女焼下駄五五円よりその他お買徳品山積
◇尚当店独特の〃夫婦特売〃として男女合せてお買求めの時は更にサービスいたします
◇最後のチョンガにならぬ中お早く！
◉…特価品は福引券を差上げません
白川屋履物店
平市一丁目電1961

新設ユニヴァーサル
万能時計検定器
高級時計の御修繕を
御心配なく御申付下さい
只今遅速調整無料奉仕中
お気軽に御来店下さい
技術と信用の店 白寶堂
平市新川町電1137

經營の分析、能率の調査
企業經營の診断を致します
公認會計士 高橋義
平市田町五の六（三延ビル二階）
平駅前三十米道路東側電一〇一七

舊年末年始
二重景品付大賣出し
自家製造の御婚禮家具
調度品一式
★郡内配達サービス
家具のデパート 伊東家具店
平市新川町 電四六四
平市本局前販売店電九五〇
工場 平市大町電二九一三〇

信頼出來る商品 それは外観だけでは分りません
㊫会員の店
岡萬年筆店
三十年の経験ある専門店でお選び下さい
平市中央通り 電三九九

常磐炭田の開發百年祭

ロータリー例會で卓話　鈴木光四郎

去る一月十三日、ロータリー木曜日例会はいわき民報ホールで開かれた。筆者は未年生れの故を以て講演を依頼された。時間は三十分に制限されたので「常磐炭田開発年譜」によつて簡明に説明した。昭和三十年は常磐炭田が開発されてから百年目に当る記念すべき年であるので、後日詳細に発表したい。従つて今回は要項のみに止めたい。

常磐炭田開發者　片寄平藏

常磐炭田開発者片寄平藏は文化十年（西暦一八一三年）郡内大森村に生れ叔父利兵衛の養子となつた。彼は材木商をしていたが、商才に富み秋田、会津方面から桐材を江戸に送つて明石屋渡辺治右衛門と取引をしていた。このとき明石屋から黒船に用ゆる石炭の重要であることを教えられ、石炭を発見すれば大なる利益をあげることが出来ると思つた。

露頭の發見

数カ月、探し求めているうち平市の南を流れる夏井川の上流新川に於て石炭の塊を発見した。急ぎ江戸に上つて明石屋の鑑定をうけたが、良質の石炭であることが証明された。彼は郷里の大森村に帰り狐塚の知友高崎今蔵と相談した。下流に在るものは上流に在ると信じ勇気百倍して新川を遡つて白水村に入つた。その頃、白水村は湯長谷藩領であつたので無断に入ることは許されなかつた。彼等は山芋掘り姿をして白水川を遡つて探し求めているうち、白水川に面した彌ろく沢（みろくざわ）に於て石炭の露頭を発見した。彼等は相擁して泣いた。この沢には大木が繁り昼尚暗い所であつたが、暗い叢の中で九尺炭が艶々と光つていたのである。

（写真は片寄平藏の墓　草野光明寺）

石炭の採掘

当時の石炭採掘法は「狸掘り」の方式であり、初め露頭の石炭を掘り、上盤を支える坑木を以て留枠をし貝殻に種子油を入れて灯火としツルハシを用いて掘つた。採つた石炭をタンガフに入れて運い出るのである。カンテラを用ゆるようになつたのは後のことで、カンテラはポルトガル語の灯火の意味である。カンテラを用いるようになつてから

朝の六時からカンテラ下げて
坑内通いも　くにのため

という炭鉱節が唄われるようになつた。当時の一俵には石炭十六貫入つていたが、それを二俵ずつ馬につけて江名の中の作港から積出した。

幕府の石炭買上げと交易

安政五年、幕府は世界の情勢から軍艦操練所を置いたが、石炭買上げの命は突然、平蔵に下つた。彼は直ちに選炭三千俵を納入して石炭御用となつた。彼の苦心が報いられて彼の生涯のうち得意の時となつたのである。

安政六年、幕府は日米通商條約にもとづいて神奈川開港を認め外国人との交易を許可した。平蔵は横浜五丁目に石炭販売店を設け外国船と石炭、紙、椎茸の取引をした。彼は貿易の元祖となつたが、横浜市では開港の恩人として野毛山に片寄神社を建立した。この神社は関東大震災のとき焼失してしまつた。

仁井田浦築港計畫

万延元年（西暦一八六〇年）平蔵は年貢米や石炭の積出し港として仁井田浦築港を計画した。これには笠間藩主牧野越中守が後援した。平蔵は仁井田浦築港によつて彌ろく沢、白水川、新川、夏井川を結ぶ石炭の大輸送路に着想していたが、間もなく病のために急逝したので事業半ばにして中止するのやむなきにいたつたのである。

平藏の急逝

万延元年八月三日、病あらたまつて平蔵は江戸の藩公の屋敷で急逝した。享年四十八才の働き盛りであつた。彼の死は各界から悼まれたが、若し長世することが出来たならば、大実業家となつたことであろう。平市泉崎の光明寺に埋葬されているが、彼の植えた柿のもとに永久に眠つている。

開發の年譜

時間の関係で以下開発の年譜のみを紹介したい。

慶応元年（西暦一八六五年）平藩士服部貞幹は北好間の鉱区を開発した。

明治二年（西暦一八六九年）加納作平は平蔵の鉱区を継いだ。

明治四年、獨国軍艦小名浜港に寄港、加納作平は石炭三千俵を納入した。

明治十六年、渋沢栄一、浅野総一郎は磐城炭鉱会社を創立した。小野田、小名浜間に軽便鉄道が敷設され、初めて小名浜港より石炭を積出した。

明治二十八年、白井遠平は入山採炭会社を創立した。

明治三十年、日本鉄道会社により常磐線が平まで開通し石炭の輸送をはじめた。

明治三十六年、白井遠平は好間炭鉱会社を創立した。

明治四十四年、好間炭鉱会社は買収され、古河鉱業株式会社と改称した。

大正四年（西暦一九一五年）磐城線が開通し小川、赤井方面の石炭が平に輸送されるようになつた。

昭和十九年（西暦一九四四年）磐城、入山の両会社は合併され常磐炭鉱株式会社と改称した。

むすび

以上、常磐炭田開発の概史を概説した。前途の通り、本年は開発百年に当るので「片寄平藏頌徳会」によつて開発百年祭が計画されている。陽春六月には記念行事も行われることであろうが、詳細なる開発史はその機会に発表する考である。奉仕の会ロータリーの発展を祈りつゝ開発の概史を終る次第である。（昭和三十年一月十三日）

舊年末年始の賣出始る

きよう二十日から旧年末年始大売出しが始まつた特賞一万円の福引抽選で人気をあおつているが、どの店も客足は新正売出しよりさびしい〃まだ始まつたばかりで、これからでしよう〃と業者も涼しい顔をしていたが…

舊正月も迫る

四倉の暮市賑う

旧正月もおし迫つて四倉町仲町の目抜き通りは正月用品売りの露店商も昨年より多く立ち並び町は正月気分にとけ込んでいる十九日は旧暦二十六日で暮市が開かれ新春の陽ざしも明るく大野、大浦方面からおし寄せる町人での目抜き通りはごつた返した、昨年から見るとサンマ漁が好かつたせいか各商店の売行きも好調の様でお飾りを買つて帰る主婦の顔も明るそうだ（写真四倉の暮市）

讀者の聲

感心な乘務員と乘客の心掛け

列車とバスの衝突事故、満員バスの転覆等交通の激しくなるにつれて事故の発生が後を立たない現況である▼過日小名浜に出張の折平駅前より常磐交通のバスを利用したが相変らず満員である、もう定員を超すだろうと思われた時まだ乗客は大勢いたのだが車掌がサツとドアを閉めて「次のバスまでお待ち下さい」と発車したのでホツとした▼踏切になると車掌が下車前後をよく確めた上でバスを誘導して踏切を通過する、全く乗客は安心していられる、道路の良さもあるが浜通りの交通事故が少いのはこうした慎重な乗務員の注意があつてこそと思い荒つぽい中通りのバスの乗務員と比較して感心させられた▼取り残された乗客も満員と見てアツサリ次のバスまで待つ気持を持つのに頻繁にバスが通つているせいもあろうが交通道徳を身につけている結果だろうし、また車掌と運転手の客さばきのうまさと、判断がこの様に乗客に交通道徳を教えたのだろう▼乗務員と乗客のこうした理解と協力が事故の発生を未然に防止しているのを思うとき中通りのバスの乗務員、乗客は交通規律を遵守しこれを見習つて戴きたい（郡山Ｓ生）

入り山を仰ぐ子供達

泉川今雄

【66】

健三はびくつとしてしまつた。六つの瞳が健三の頭から足の先迄じつと見つめているからである。

彼等は健三の口元を見つめていた。

「そうなんだ。云つておくがおれはもう君達とは遊ばないよ。」

健三は彼等の質問にきつぱりと答えた。勇気のいる答を云つてのけた。

「そうか、分かつた。だがな健三、これからどんな目に遭うか知つてるだろうな。」

「…」

「知つていれば後は用はない。よつく云つておくが今日限り健三とは絶交だ。絶交した以上はおれらのやる事に一々口出しをするなよ。いゝか、分かつたな。」

「…」

「健三、いつか御礼参りをするぞ」

「…」

「じや帰ろう。」三名の中学生はくるりつと廻われ右をするとスタスタと歩るき出した。肩で風を切る様にして歩るき出した。

一種の暗い気持ちが健三の心の中を覆い被さつて払い切れなかつた。心臓がえぐり切られる様な鋭いメスに突きさゝれた様な衝激に逢つたのである。家に帰つても心の動揺が治まらなかつた。しやくにさわつて、しやくにさわつて憤つていた。一本一本の神経が妙に目ざわりだつた。破れ障子など見ると一人で腹がたつた。憤懣やるせない気持、自暴自棄なすてばちになつていた。大人なら或いはヤケ酒をあおつて自分のうつぷんを晴らしていなければ腹の虫が治まらない処だろう。

〃これからどんな目に遭うか知つてるだろうな〃とか〃いつか御礼参りをするぞ〃と云う脅迫めいた言葉に対してのレジスタンス（反抗）がむくむくとこみ上げるだけだつた。

事実健三は喧嘩には強かつた。一旦奮い起てば千人力を発揮するのである。大狼少年の異名をとる森谷健三であれば、例え小学五年生であつても、その腕力は三人や五人の者を相手にしても敢てびくともしなかつた。だが健三は、この非行の沼から足を洗つた積りである。そして、少くとも子供としての美しさを求めていたのである―それはこの世で最も美しいもの―それは花でもない。美人でもない―美しい心なのである。この美しい心に浸り切りたかつたのである。否、そのために健三のもがきは続けられているのである。このもがきを打ち破るかの様に、突如現われた今日の脅迫に対して、健三は凡らく最大の反感を感じたのだつた。

健三の母は目ざとく健三のこの哀われな姿を見つけた。

「健三、なにかあつたのか。」

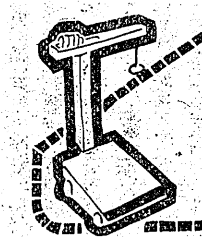
健三は返事に困つた。ためらつた。

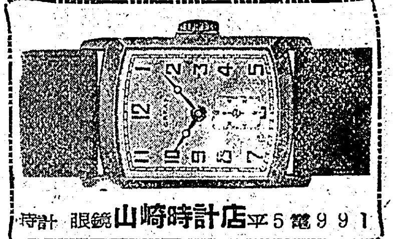
「いや、なんでもねえや。でも一寸、頭が痛いんだ。頭がふらふらすんだ。」こう云つてわざと額に右手をあてて熱でも計る様な真似をした。

新しいＤＰは富士

定期預金
貯えありて
夢も安らか
皆様の 大東相互銀行

純良
毛布
永い信用に 一流メーカー品を
いつも豊富に取揃え
秦の店 中野洋品店 平電5 三三


サービス迅速
浜通り唯一の
修理工場
石城計量社
平市かじ町電1468


時計 眼鏡 山崎時計店 平5電991

財團法人 松村病院
磐城済世会（平市南町二三大通り）
電話（平）一〇七番（受付）
一八九二番（事務）
一六九六番（第二病室）
院長 松村亨
内科 横山八十八
胃腸科 岡崎仁
呼吸器科 岸田英彦
外科 松村亨
婦人科 田辺勇成
性病科
歯科 松村政次
放射線科 吉田吉之助
臨床検査部 新妻春治
草野政雄
佐藤吉雄
志賀道男
薬局 薬剤師 蛭田みさほ

産科婦人科
第一（午前）
叶多醫院
平市二丁目電三五五
第二医院（午後）
湯本町駅前
電話四〇一番

カバンと袋物専門の店
入学から卒業まで
福山の
ランドセル
学生カバン
平市2丁目電317

ミシン
パインミシン
シンガーミシン
福助 芝浦 日産
一流ミシン取扱
☆チケットご利用下さい
工場 植田町北台町電一六
営業所 植田町本町電呼三〇
飯塚ミシン商会

外科
肛門科
上田醫院
平市南町（平局裏通）
電話一二九番

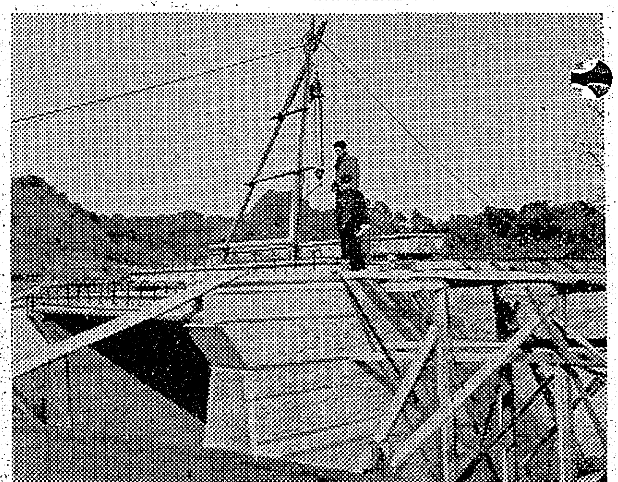
普通工事 期間の廿分の一

荒川橋で採用、來月に完成

鉄筋コンクリート橋を従来の工期の二十分の一の速さで完成するという劃期的な工事方法をこの程石城地方失対事務所で県内に魁け始めて採用、関係方面から注目されている

平市三十米道路から谷川瀬を通つて磐城市に結ぶ二級国道新設工事中の平市上荒川地内にある草木川に昨年八月から長サ八米、幅十一米の鉄筋コンクリート橋（荒川橋）建設中だつたが、五カ月かゝつて橋脚が完成、愈々橋台工事に入ることになつたが、普通の工事ではカタワクを組んで鉄筋を入れるという方法でやると完成まで半年はかゝるが、このほど東京のある会社からP・Sコンクリート・プレキスト桁という鉄道レール型に固めたコンクリートの桁（長サ一本八米、高サ三十糎下底三十二糎上底二十糎）三十五本を八十一万円で購入、これを床板を敷くようにならべワズか二日間で敷設したあとはこの上をコンクリートで平均に固めるだけで三日間、だから五日分で完成するワケ、普通の工事方法から比べるとワズか二十分の一日の工期で完成するので緊急な架橋工事にはもつてこい、工費は普通の工事より二割高となるが工事に不正が出来ない点などを計算に入れると実に有効な工事資材である、プレキャスト桁はピアノに使用する金属線を沢山ピーンと張つた中にコンクリートを入れて凝固させたものだけに凝固度も強く、一本の重サ一屯、この橋には三十五本使用してあるので三十五屯の重さとなるが耐重限度は十四屯、だから相当重い車でもビクともしない橋となる、この橋梁の総工事三百十万円、完成は二月初旬

山中技師談＝この桁は近代科学の粋をこらして作つたものだけに充分耐久力を計算して作つたものだ、桁そのものは一本々々にすればモロいので慎重に敷設せねばならない、とにかく工事が早く完成出来るので好間の町田橋などはこの方法でやれば早く完成出来ると思う


（写真はプレキャスト桁を使つて工事中の荒川橋）

東京の病院長と詐稱

投藥して數十万圓巻上ぐ

平署では二十日朝磐城市泉駅前綿屋旅館に宿泊している住居不定無職山田辰治（七四）を医師法違反容疑で逮捕した

同人は東京都中野区大和町山田病院長と自称し昨年初めごろから綿屋旅館に泊り込み医師の免許も無いのに石城郡下小川村農草野喜三郎さんに家傳漢法化学総合特効薬と称した薬を投薬し五日分で五百円を取つたほか山村の無智な農家をおとずれ同様手口で数十万円の荒かせぎをしており、しんさつに出かける時も聴診器とカバンを持ち医者らしく見せかけ薬は市内の薬屋から買い込みもつともらしく患者の目前で調合し泉は東京の出張所だとうそぶいている

夫婦など二名書類送検

人身賣買と賣春强要

磐城署は二十日磐城市林上二四七無職中山キミ（五八）を職安法違反で長野県飯田市二本松町三二三九特飲店〃花菱〃原兼保（四三）妻美代子（三〇）夫婦を児童福祉法並びに勧誘法違反容疑で書類送検した、中山は磐城市上神白水産加工婦少女A（一八）B（一七）C（一三）の三名を「酒場の女給に世話してやる」と言葉巧みに飯田市〃花菱〃に住み込ませ原夫婦は昨年十一月六日から二十三日まで四百円から三千円で客をとらせ、およそ三十回による売春行為を強要していたもので、被害者の三少女が無断で家出し昨年十一月二日父兄から磐城署に捜索願いが出され調査の結果飯田市にいることが判り十一月二十五日父兄に連れ戻され、磐城署で事情を聴取した結果三名の各容疑者を発見したもの、なお中山はさきにも職安法違反容疑で送検され保釈中だつたというしたたか者だつた

ポンプを故買

磐城署は磐城市古港一九二古物商金原政雄こと金政雄（四九）を十九日贓物故買容疑で身柄送検した、金は十一月二十七日午後十一時磐城市中の作漁夫高橋某（一九）が盗んだ汽船用ウオーターポンプ一台（一万八千円相当）を、盗品としりながら二千円で買つたほか三件（八万円相当）を二万円で買つたものだが自宅に立廻つたところを張り込み中の同署員に逮捕されたもので、家宅捜索の際ヒロポン二十六本が押収されている

珍しい無人輸送

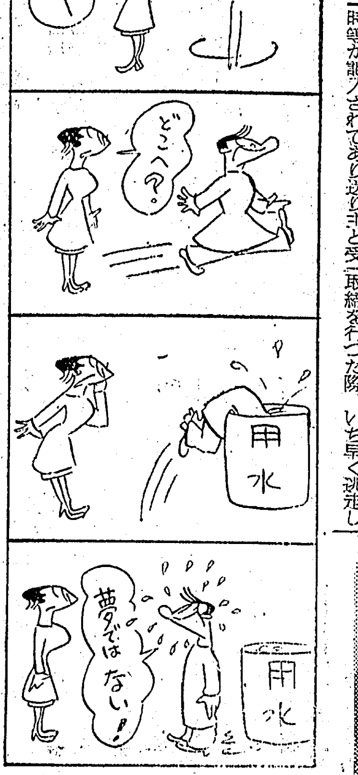
今暁ヤミ米十俵押收

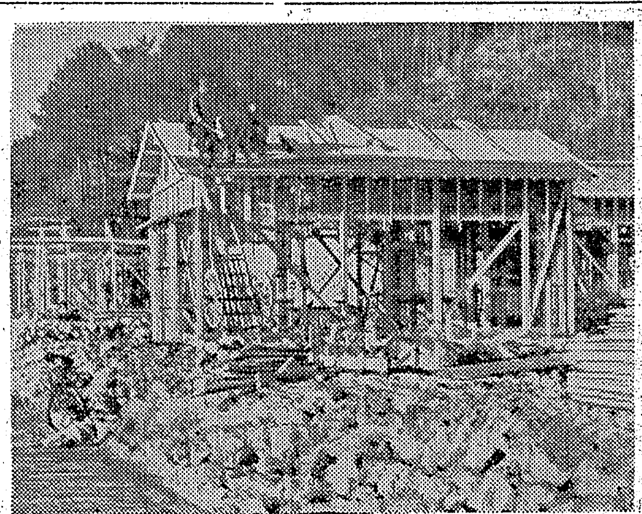
平署では機動隊の協力を得て二十日午前一時十分平着常磐線上り二一二列車の闇米取締りを四倉―平間で行い無主物十二コ約十俵を押収した、この取締で無人輸送という珍しい米の運搬方法が発見された、これはダンボール箱に米約二斗を詰め列車の洗面所の下に置いたのとセメント袋に米一斗を詰めたもの二件で持主がなくいずれも手紙があり送り数と次回の送付日時等が記入されてあり送り主と受け取り人の氏名が無いところから前もつて打合せが出来ているものと見られ取締当局の目をごまかすために益々巧妙になつて来ている

逃走中捕る

ヒロポンを押收

常磐署は二十日常磐市字笊井三〇無職小林正四郎（三九）を覚醒剤取締法違反容疑で検挙した、小林は去る十三日常磐署がヒロポンの一斉取締を行つた際、いち早く逃走し


さん
1341
中島安男
結婚してもいゝワ！
どこへ？
用水
夢ではない！
用水



四倉の住宅廿棟

二月下旬に完成

四倉町々田地内の文化公営住宅二戸建二十棟、総工費七百三十九万三千円の建築工事は去年十一月中旬長谷川光寿氏が敷地整理に着工十二月完成したので、去る十八日同町磐城工業＝鈴木吉之助氏＝ほか地元六土建業者が一斉に上棟式を行い二月下旬完成をめざして拍車をかけている、公営住宅は一戸十一坪の平家、六、四半、三畳の三間で玄関、物置、台所、水道付という文化住宅、貸家申込み受付けは二月中旬ごろ開始し三月一日から居住出来る様計うと町当局では語つている、なお貸家の詳細は新聞広告に掲載することになつている（写真は二月完成をめざす公営住宅）

優良從業員を表彰

平飲食業組合總會を開く

平飲食業組合総会は十八日午後二時から平市公会堂日本間に組合員百三十名が集つて開き、前役員二名、現役員一名に感謝状、優良店舗五、優良従業員三十八名を表彰し、新加入店舗まるさほか七軒の加入を認め閉会した

▼前役員 加藤正保 渡辺繁見

▼現役員 鈴木常吉

▼優良店舗 一方部 好喜屋（丹野徳好）二方部 小柳（伊藤ハツ）三方部 なじみ（根本春雄）四方部 蛇の目（星野小牧）五方部 扇屋（水竹政勝）

▼新加入店舗 一方部 幸楽（根本京子）三久（佐藤久子）二方部 松の寿し（松本みさを）まるさ（佐藤善治郎）四方部 岩草（小宅ひろ子）ぎおん（阿部宏）満腹（関場）紫（高崎昇三）

▼優良従業員 一方部 吉田屋（尾形よし子）七福（村山貞子）辰巳（佐藤信子）二方部 小松屋（高橋良子）ゑびす（渡辺君子）ときわや（吉成五郎）うつぼ（田山久子）十一屋（中野まつ枝、園部清子）ごらく（增子栄子）たかを（阿部美代子）浮世（木田和子）不二屋（加藤徳雄、高橋博）マルトモ（斎藤晴司）さかえ（太田貞枝）ときわや（栗田君枝）三方部 花扇（大高文子）藤よし（市川栄久）なじみ（渡辺ユミ子）日高（渡辺きよの）四方部 パール（高橋誠、瀬美博）玉半（酒井一雄、渡辺君子、鈴木文子、岡野谷喜一郎）安楽（高野秋子）ブラジル（佐藤洋司郎）江戸川（雪徳雄）小倉（町田好子、小松節子）平華（檜山あさる）フラワー（皆川勝美）五方部 なかや（阿部節郎）ご汁屋（杉田登）中村屋（大部アキ）富士（木村トヨ子）

老婆が卒倒

十九日午後三時半ごろ磐城市小名浜臨港鉄道小名浜駅待合室で老婆が卒倒し、同市本町石井医院の手当をうけ一命をとりとめた、この老婆は田村郡船引町高水町魚行商の西須ミノさん（五九）で脳溢血だつた

故買で擧る

磐城署は十九日磐城市栄町四古物商（磐城商会）伊藤重雄こと幹重雄（三三）を故買で、同市大字下神白字細取漁夫高津徳男（三八）を窃盗容疑でそれぞれ逮捕した、十三日午前一時高津が基石油店から盗んだ二百リツトル入りドラム罐一本（二万円相当）を幹から三千円で買つたもの

労働が苛酷と申入れ

調査の上是正

十九日午後一時平職安所で全日自労石城地区協代表十九名が加藤職安所長に「就労対策の公共事業の労働は苛酷過ぎる」と申入れた、これに対し職安所でも各事業所を調査の上是正することを回答した

労組代表の言によれば就労対策の公共事業は能率主義の高賃金のため請負業者がコマ割り枠を増加する傾向にあり、磐城土建が請負つた好間川の改修工事などは午前七時から午後四時半まで四リユーベのコマ割りを働かせるというもので、平職安所でも河川工事の一日労働量は三リーユベが基準とされ作業時間も午前七時から四時までとなつているので労組側の申入れの真偽性を調査することになつたもの

父坂本豊勝儀永らく病気療養中の処薬石効なく一月二十日朝永眠いたしましたので生前の御交誼を深謝し謹んで御通知申上げます

追つて葬儀は一月二十一日午後一時自宅出棺いたします

昭和三十年一月二十日

平市中町一六

喪主 坂本忠夫

妻 坂本ヨシノ

親戚総代 坂本新五郎

友人総代 眞田鳥秋

結城卯子

舊暮舊正
連合福引大賣出し
十七日より二十六日（旧正三日まで）
▽豪華な初抽籤
一等當籤者五〇名様
成田山初詣鬼怒川溫泉一泊
御招待（ロマンスカーにて
御案内申上げます）
御買上三百圓毎に抽籤券一枚進呈
一〇〇圓毎に補助券一枚空籤なし
（各商店共大割引大奉仕）
主催 植田町商工會

厚生医療指定病院
整形外科
外科
内科
レントゲン科
理學診療科
平市三十米道路 電八一二・六〇八
医療法人 竹林病院
【入院随時】
院長 竹林貞吉
医員 高見沢明
部長 津田守道

新年宴會は…
よせ鍋 ちり鍋 関西料理 釜めし
にた川
紅小路店 電一四五六
才槌小路店 電一〇二一

PEARL
佛蘭西の味をパールで
★あたたかいお部屋で
チーズの利いた
マカロニ
スパゲツト 料理
如何ですか？
シユーマイ・ワンタンなど
用意いたしております
この味
この雰囲氣
ぜひお味い下さい
レストラン
パール
社長 金子松男
平市三田小路電1388

誰れも言う
そばは長壽の良い
主食 一日一回
そば うどん!!
出前の迅速
晦日そば
食べてめでたき
歳の暮れ
福島屋
磐城市横町電一二三番

あらびあ日記

丹保三郎

（7）

九月四日

下僕が階下で呼んでいる。昨夜の暴風などケロリと忘れた朝の装いだ。こゝの二階に二人で眠つたが、連れの男（サリフの看護員）は仲々眼をさまそうとしない。その中やつと渋い眼をこすりながら起出すと、階段を降りて行つて錠を開けた。

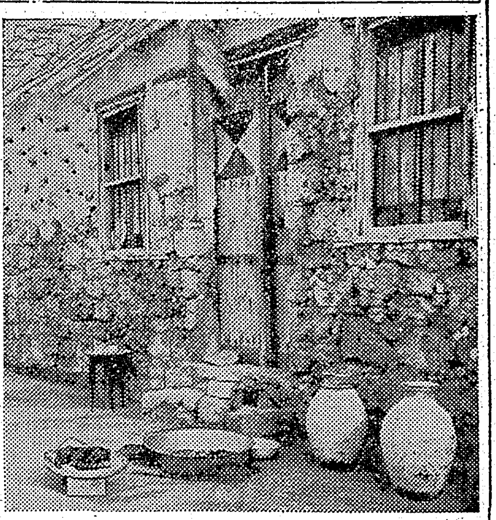
面倒を掛けることを極力避けて茶だけ御馳走になり、せき立て気味に、舟を仕立てゝもらつて一度帰船する。昨夜のときならぬしけで無断外泊してしまつたので、船長以下心配して居られるに違いない。どうでも顔を見せて、それから出直さねばならぬと頑張る。

舟着場にドラム罐が並んでいるこの側にらくだがうずくまつて、背に懸けた水がめからドラム罐へ水が移されている。らくだのほかにも小さなろばが素焼きのかめを負うてやつてくる。カマランのはずれにある泉から汲みあげられた水はドラム罐につめられて毎日、舟で対岸のサリフへ運ばれてゆくのである。頭に皿のような大きな器をのせて少年がくる。

皿には暑さでとけかゝつたまゝで十五、六本の白い飴が並べられてある。漁業で立つているこの狭い町は舟着場附近が町の賑わいの中心である。

正午待たせてあつた舟でカマランへ戻る。風が殆んどなくなつてその度に帆の位置を変え、苛立たしいまでのどかな日中の暑熱の中を、又々二時間近くも要してゆく間ののびた船頭の舟唄。帆の中へ身を隠すようにして烈しい熱線を避けながら、ぼんやりした気持で聞くともなく唄声を聞いている海どりが奇怪な叫びを発しながら時折飛ぶ。その癖姿は見えないのだ。どうにも我慢出来なくなつてふなべりから足を垂らしぬるい海水に浸していると、注意された。大きな魚がいて引き入れられるというのだ。よく海岸近くで漁師や子供達がやられる由。そういえば昨日大きな背びれで海面をきつて凄い怪魚が発動機船に雁行して泳いでいたのを想い出す。

病院へゆく途中、供のものを先へやつて一人で城趾へ登つてゆく。崩れ残りの荒れ果てた城とりでの岩をとかして貝が岩の中から露わにのぞいている美しい化石がそこにもこゝにも見捨てられたまゝで散乱している。全島を貫通するといわれる洞窟、その真黒な地下天井には無数のこうもりが逆さに吊りさがりそして突然一斉に羽搏いた。崩れ落ちた城壁の上に立つて望めば、茫々たる砂ばくは地平線の涯までも灰褐色に拡がりつゞく。喉が非常にかわく。素焼の水差の水でうがいをする。それを見て早速手づかみの氷片をコップに入れて、とつておきの果汁を注いで出してくれる。何としても飲めない。こわいのだ。何くわぬ顔でそのコップを少年にやつてしまう。少年は一口飲んだ。この子は、自分が何遍も素焼の水差を眺めまわしているのを見て逸早く本心を見抜き、水差をあげるなどといい出す。この水差は彼等のいわば魔法びんなのだ。微細な素焼の孔からしみ出た水分が絶えず気化熱を奪うために容器内の水は外気温と無関係に冷却される仕組になつている。古拙な形と素朴な模様が気に入つた。



（写真は民家の前につくられている洗濯場）

今日は念のために挿入して置いたドレーンを抜去してしまう。ギブスも思つたより周りよし。創傷もまあまあである。自分の居なくなつたあとのことを考えて看護員に今日から一切をやらせ、自分は横で見ていることにする。それから、彼の顔を立てゝ皆が信頼できるように仕向けるのが、これからの仕事である。この男は四十才だというが、そして二十五年もこゝで働いているというが、実に忠実な地味な気持のよい人だ。病人が診て貰いたいと待つているがというので、快く承知して部落内を廻つて歩く。驚くべきは病人はすべて女と子供なのだ。男は仕事へ出ているか屋外で遊んでいるのであろう。女は一日中を家の中で過し滅多に戸外を出歩くことをしないのだ。内にこもつている若い女と得体の知れない病気、何か意味ありげなつながりを連想してみたくもなろうというもの。女達は家の中ではベールをつけてはいない。貧弱な薄い胸、そして下腹部までびつしりつけたあせも、申し合せたように二、三カ月前から工合が悪いという。頭痛と腹痛と嘔気とめまい。皆ひどい貧血、赤ん坊は寝台の横に張られた背負い帯のような白い布の中にとつぽり入つている。高い正面の壁間には棚が吊られ、美しい模様で彩色された皿や食器類が並び飾られてある。

アラビアの女達は十才になると面を覆うてしまうのだそうである十二才前後で初潮をみ、十三、四才になれば結婚の適令期である。男は二十才頃になると金をこしらえてこれはと思う娘さんの親御の所へ行つて結婚を申込む。勿論花嫁となる人の顔は知るに由もない男が二十代になつてまだ独身だなどといつているのは召使いのような生活力のない貧乏人だけで、金持は大体一夫多妻である。一週間は毎日婚礼の祝宴がつゞき、その後新婚の若夫婦は密月旅行に出る。金の余りない若者達は舟に乗つて紅海を漕いで廻るのだそうである。日本では恋愛結婚だというと羨しい顔をしていた。

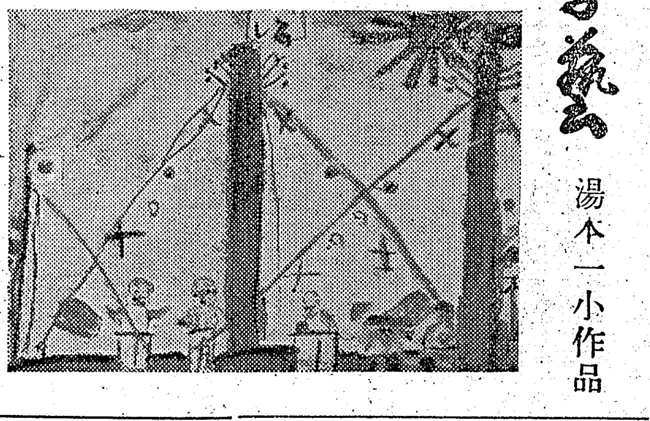
男の子たちは割礼を施されていて、包皮をぐるりと丸く切りとつてある。夕方になると人々は海岸に集まつてきて、砂浜の上に坐つたりねそべつたりして涼む。茶をのんだりしている。年寄をかこんで子供達が多分海の向うの彼が若かつた時旅で見たいろいろの珍しい話を、せがんでいる風であつた

八時過ぎ、風が出てきたので帆走してかえる。舟着場の石垣に並んで黒い影が何時までも見送つている。三日月が紅海の静かな波に砕けては漂う、暗い海に妖しい文字を描いて魚がはしり交う。舟唄をきゝながらうつとりと涼風を懐ろにして帆のかげから月を見上げている。

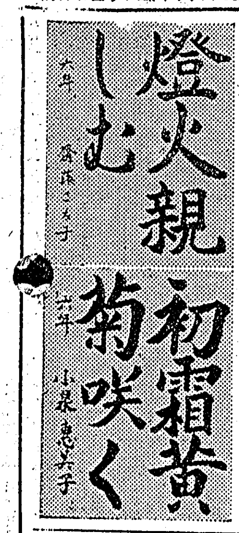
（整肢療護園医師）

学芸

湯本一小作品



うんどうかい　一ノ四　はせがわきよし



燈火親しむ　六年　斎藤[illegible]子

初霜相黄菊咲く　六年　小泉恵美子

映画ひろしまを見て

湯本一中二年　佐藤雄子

日本の西南で、瀬戸内海に面した名所古跡の多い広島に、原子ばくだんが投下されてから九年目です。映画を見て想像以上の悲惨なさまを目の前にみて、丈夫な体で「生きる」ということの幸福を感じた。

美しい町や村も、人の心も一瞬にしてくずれはてゝ、死の町、生地獄と化していつたさまや、半死半生の人達が、親は子を子は親をしたい求めて、泣きさけぶいたましい姿の中に、真の親子の情、生の強さをはつきりと見ることが出来た。

船の中で帰らぬ母を待ちながら見も知らぬ人にみとられつゝ死んでいつたかわいそうな小さな子供又大根の芽の出た時の人々の喜びはどんなだつたであろうか。二度と草木のはえないといわれた広島に春がふたゝびめぐり来た。一度起した戦争というあやまちで、何十万という尊い人命を失い、罪もない子供にまで、苦しい思いをさせた戦争を二度と再び起さぬよう一人一人の心にちかいあい、欲を捨て、世の為、人の為そして平和な日本、世界人類の幸福の礎を築くため努力しようではありませんか。

文化講座

廿二日平二小

平第二婦人会では本年初の婦人学級と文化講座を二十二日午後二時から平二小家庭科教室で開き、二中校長草野悟郎氏の「言葉について」と題する講演がある

いてふの会

一月詠草

一月六日
於白木氏宅

後藤 欣子
屠殺場にひかれゆく黒き牛もありて春の巷は遥かに寒し

岡 直勝
水道栓を水滴れりまれまれの乏しき憶ひよみがへる如く

佐原齊久司
吹きおろす風のひびきは空にして捉へ難かる流れをもてり

田中 賢介
愛用の毛糸の頭巾すつぽりと被りてわれやしばしのピエロ

白木 英尾
暁の空気のなかに残ろうのかたちをみするわれとなりゆく

野崎 司
小さなる決意を一つわがもちて近々と海の鳴る夜覚めをり

野本多饗夫
建て付の悪しき雨戸に施錠して妻はまだ帰らず寒き日の暮

伊藤 弘道
誰からも死期を計算されている祖母が来りて落穂を拾う

大内与五郎
板壁に影うごきつゝ梅干をひとり食む夜のわが生のかげ

今晩のラジオ

20日

◇NHK 一三六〇KC
七・三〇 浪花演芸会
八・〇〇 歌の花ごよみ
八・三〇 「由起子」木村功
九・一五 リズムパレード ジャズ合戦
九・四〇 時の動き
一〇・一五 邦楽名曲選
一〇・四〇 こんな話あんな話

◇ラジオ福島 一〇六〇KC
七・三〇 唄うパラマックスアワー
八・〇〇 浪曲 国友忠
八・三〇 あづま演芸会
九・〇五 平凡アワー 石浜、雪村
九・三〇 小唄教室
一〇・〇五 名作アルバム

今週の映画

15日＝21日

★平館 夜七時 透明人間 この広い空のどこかに
★民劇 夜五時三〇分 人きり彦斉 浮れ狐千本桜 照る日くもる日後篇
★聚楽館 夜六時三〇分 怪僧ラスプーチン 謎のモルグ街（二十日まで）
★ひかり座 夜六時四五分 ターザンと密林の女王 アロウヘッド（二十七日まで）
★世界館 夜六時三十三分 紅孔雀二部 謎の怪人屋敷 春の渦巻

地下タビ
運動靴
長靴
は
祖國
[illegible]本店

DPはタナカ

巨萬の富も王侯の如き権力も新妻を幸福にすることはできなかつた
愛に飢え愛に迷う名門夫人の姿をとらえた待望の巨篇
名匠ディターレが贈るロマンティック・ドラマ空前のスペクタクル
パラマウント超特作
巨象の道
総天然色
エリザベス・テイラー　ダナ・アンドリユース
西部映畫史に輝く名匠キング。
ヴイダー不滅の名作　パラマウント超特作
テキサス決死隊
フレッド・マクマレイ　ジャツク・オーキー
21→26日
暖房完備
聚樂館

閑花亭のパン

誰方でも安心して使える
ふくふく綿
2丁目　平製綿KK　電 748 1958

御宮
橋本屋
平市新川町電一九四八

外科
胃腸科
泌尿器科
性病科
眞木醫院
平市南町（公会堂通）
電話一一九五番

生徒募集
普通科 六カ月
速成科 三カ月
夜間部 六カ月
就職確實 規則書呈
榮タイピスト養成所
平市田町ひかり座裏通り電二〇四

平運動具店
平市才槌小路
デンワ108